

取扱説明書

M形埋込み形照明器具

保管用



LEDベースライト

(天井・直付兼用・一般屋内用)

ご使用になれる前に必ずお読みください

安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具（簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く）及び配線器具の取り付け工事は

必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品名	光源色、色温度、配光	適合ランプまたは光源ユニット	定格電圧	周波数	消費電力	調光
DD-3645-W	白色相当、4000K、ワイド	LED 101W	AC100V~242V(±6%)	50/60Hz	101W	非調光

*1回路の最大接続台数は100V時5台(200V時11台、242V時14台)までです。(調光器未接続。定格15A配線器具使用時)

1 安全上のご注意：必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するため、内容をよくご確認ください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
分解禁止 器具を改造したり、部品交換をしたりしない 火災、感電、落下の原因になります。	アース工事必ず実施する アース工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に起こさう 感電の原因になります。	必ず実施する 指定の方向で取り付ける 指定以外の方向で取り付けると火災、感電、けがの原因になります。 お手入れの際には電源を切る 感電の原因となります。 異常を感じた場合は速やかに電源を切る 異常状態がおさまったことを確認し、販売店または工事店にご相談ください。
浴室禁止 屋外禁止 浴室等の湿気の多いところや屋外では使用しない 火災、感電の原因になります。	必ず実施する 重量に耐えるところに確実に取り付ける 落下によるけがの原因になります。 取り付けは取扱説明書にしたがい確実に起こさう 不完全な取り付けは、火災、感電、けがの原因になります。 電源接続は取扱説明書にしたがい確実に起こさう 接続不良による火災の原因になります。	
禁止 布や紙などで覆ったり、燃やしやすいものを近づけたりしない 火災の原因になります。 器具の隙間や放熱穴にものを差し込まない 火災、感電の原因になります。		

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
禁止 腐食性ガス・粉じんの影響を受ける場所、振動の多い場所では使用しない 損傷、過熱、火災、感電、落下の原因になります。 調光器は使用しない（100%点灯でも使用不可） 故障、火災の原因になりますので、必ず取り外してください。 ストーブなど温度の高くなるものを器具の真下に置かない 故障、火災の原因になります。	禁止 蒸気や熱気の上がる煮炊きなどの調理を器具の真下でおこなわない 故障、火災の原因になります。 スプレーがけ 水洗い禁止 水洗いしたり、スプレー式洗剤をかけたりしない 故障、感電、火災の原因になります。 接触禁止 点灯中や消灯直後の器具にさわらない やけどの原因になります。	必ず実施する 表示された電源電圧で使用する 火災、感電の原因になります。 電源工事は必ず販売店・工事店（有資格者）に依頼する 一般の方の電源工事は禁止されています。 定期的に清掃、点検をする 不具合を発見した場合は使用を中止し、販売店・工事店に修理を依頼してください。

2 設置場所の確認：埋込取付の場合、取付前にご確認ください

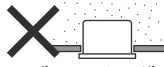
警告 必ず以下の設置条件をお守りください。

●住宅の断熱施工天井には使用できません

マット敷工法やブローイング工法の天井、または特殊な断熱施工天井には使用できません。



マット敷工法
人造鉱物繊維断熱材
JIS A 9521

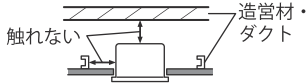


ブローイング工法
吹込み用繊維質断熱材
JIS A 9523

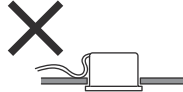


特殊な
断熱施工天井

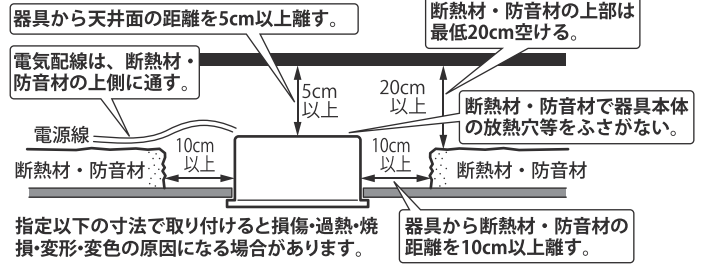
器具が天井の造営材・ダクト等の設備に触れないようにしてください。



電源線を器具のまわりにまわりつかせないでください。



●住宅以外の断熱施工天井で使用する場合の施工方法

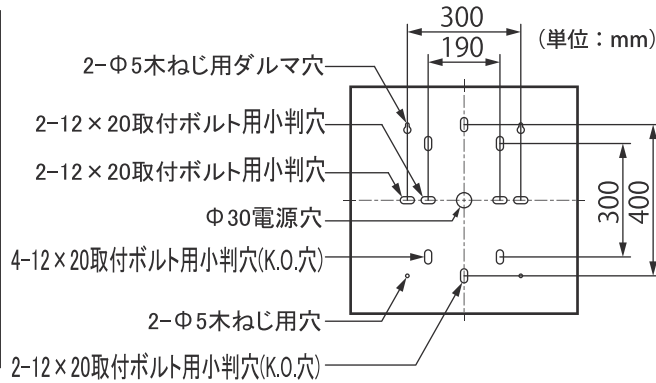
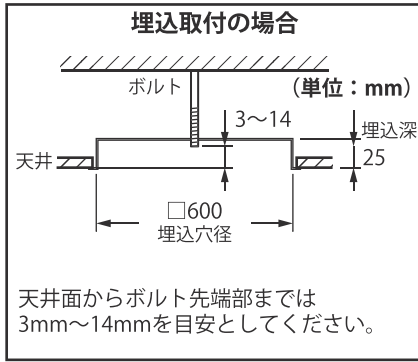


警告 下記のような場所には取り付けられません。落下によるけがの原因となります。



指定以外の施工により発生した事故については、弊社は責任を負いかねますので充分にご注意ください。

3 取付寸法図

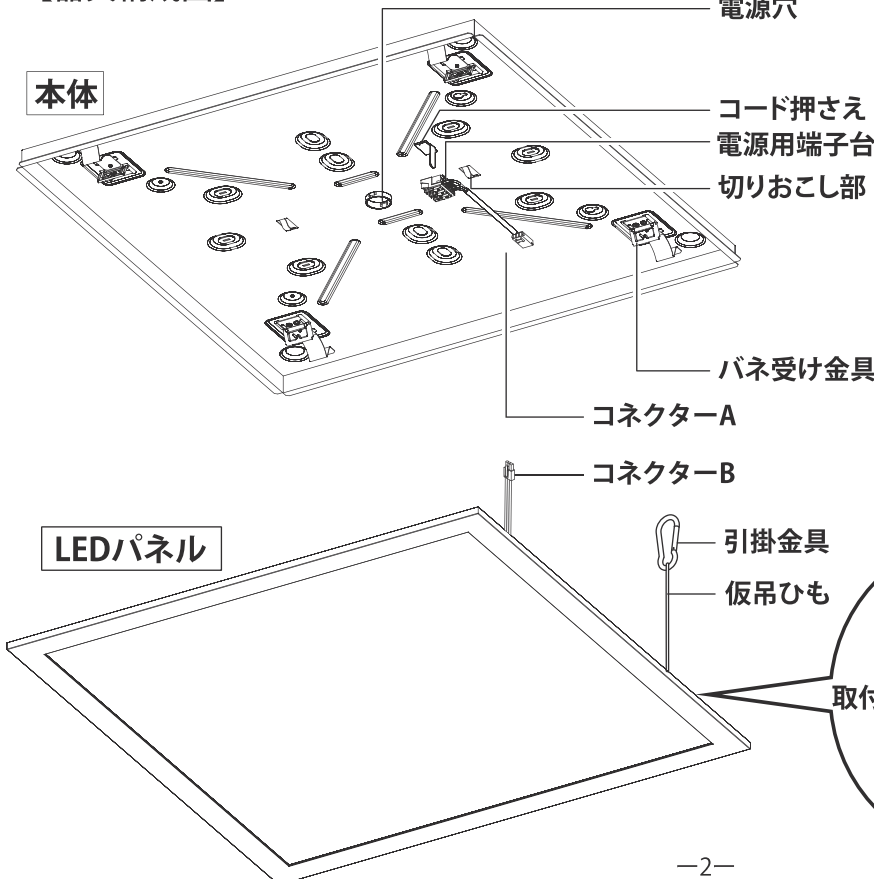


電源スイッチについて

片切スイッチを使用する場合は電源の高圧側に設置してください。電源電圧200V以上の場合には両切スイッチを使用してください。片切スイッチを使用すると、スイッチを切ってもLEDが微発光する現象の原因になります。

4 各部の名称

【器具構成図】



【付属品】

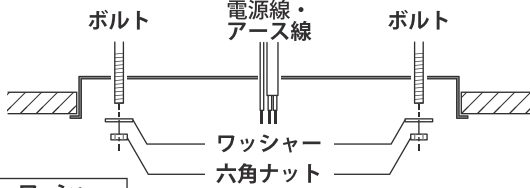
- 取扱説明書（本紙）……1枚
- 保証とアフターサービスについて（別紙）……1枚
- 木ねじ……4本

5 器具の取り付け：電気工事士の資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください

[1] 本体を取り付ける

ボルト取付の場合

器具の重量に十分に耐えうるよう、取付ボルトの強度をあらかじめ確保しておいてください

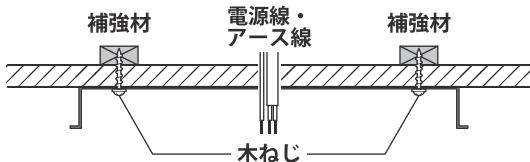


ボルト・ワッシャー・六角ナットは付属していません。

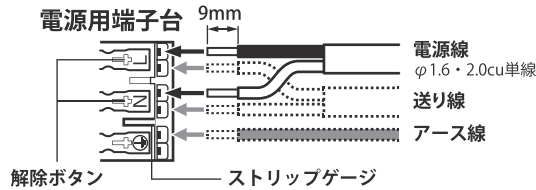
△注意
ナットの締め付けは、本体の枠が密着したところでおやめください。締め付けすぎは器具破損(変形)の原因となります。

直付取付の場合

△警告
ねじ止める箇所には取付面の裏側から補強材をあてて必ず補強してください。落下の原因となります。



[2] 電源線・アース線を接続する

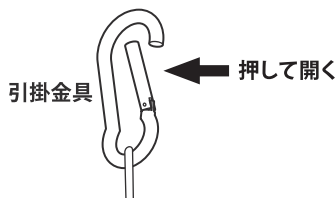


- 電源線の被覆は指定の長さにもむき、1本ずつ確実に差し込んでください。差し込み不十分は、感電・火災の原因になります。
- 電線はまっすぐ穴に差し込んでください。斜めに差し込むと電源用端子台を破損するおそれがあります。
- 送り配線は照明器具専用です。(送り総容量20A)
- D種(第三種)接地工事をおこなってください。

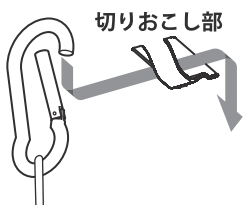
解除方法 ドライバー等で解除ボタンを押して電源線を引いてください。

[3] LEDパネルを引掛金具で本体に仮吊りする

(1) 引掛金具の図の位置を押して開いてください。



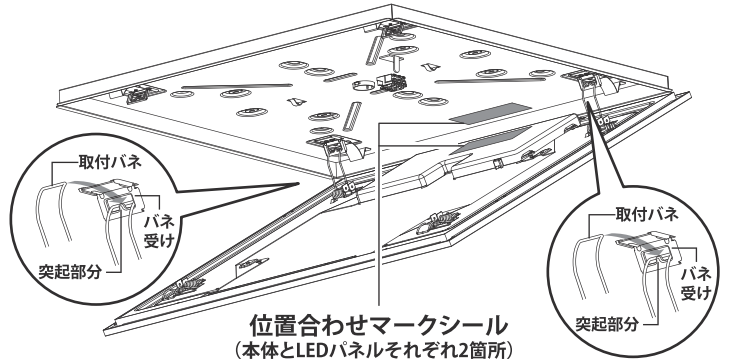
(2) 引掛金具を本体の切りおし部に引掛けてください。



[4] LEDパネルを取付バネで本体に仮吊りする

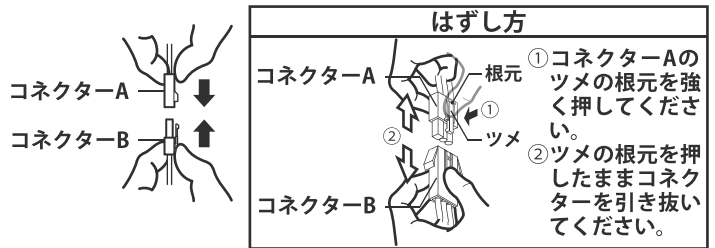
位置合わせマークシール側の取付バネの先端を同じシール側のバネ受けの突起部分に引っ掛けて本体を仮吊りしてください。(2カ所で仮吊りしてください)

※バネを強くはじかないでください。部品の破損、けがの原因になる場合があります。



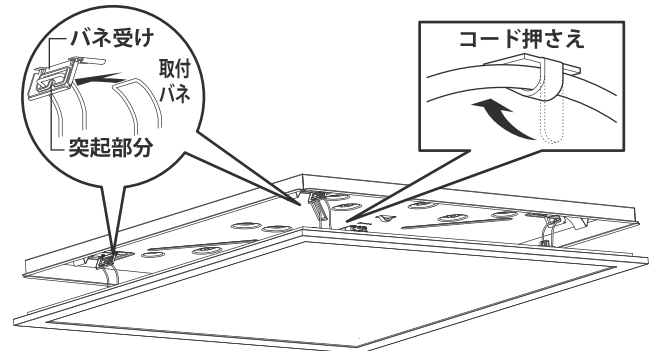
[5] コネクターを接続する

コネクターAをコネクターBに接続してください。

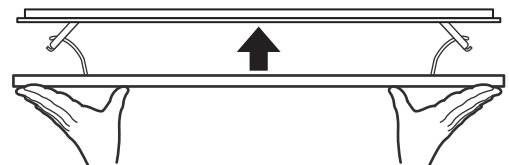


[6] LEDパネルを取り付ける

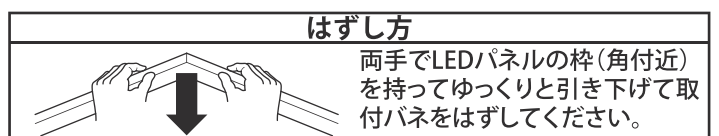
(1) 残り2カ所の取付バネの先端をバネ受けの突起部分に引っ掛けて本体を4カ所で仮吊りしてください。コードはコード押さえではさんでください。



(2) LEDパネルをゆっくりと押し上げてください。



(3) 本体とLEDパネルに隙間がないか確認してください。隙間がある場合には再度本体を押し込んでください。



6 スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

7 保守・点検・その他の留意点

[1] LEDについて

- (1) LEDには光のバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- (2) LEDを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- (3) 器具のきわめて近くで、赤外線リモコン方式のテレビ等の機器を使用すると、リモコン操作に影響を与える場合があります。
- (4) 器具を山間部、鉄筋建物等の電波の弱い地域でご使用する場合、音響、映像機器に影響を与えることがあります。特に器具の近くでのラジオの使用は避けください。雑音が入る場合があります。
- (5) ホタルスイッチは3個までとしてください。
4個以上では、スイッチを切ったときにランプが点滅したり暗く点灯することがあります。また壁スイッチ点灯切替機能付きの器具は、正常に切替ができない場合があります。

[2] お手入れについて

- (1) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
※汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤分が残らないように水で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
※木材、紙、布などは水拭きせず、柔らかい布またははたきで、こまめにほこりを落としてください。
※スプレー式洗剤などを直接器具にかけると火災の原因になります。必ず布に含ませてご使用ください。
※シンナー・ベンジン等のご使用は避けください。
器具が変色・変形する場合があります。
- (2) 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃をおこなってください。

■LEDの光源ユニットについて

LEDの光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

この器具は、構造上お客様が適合ランプまたは光源ユニットを交換する事ができません。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

[3] その他の留意点

- (1) 揮発性物質および殺虫剤等を器具にかけないでください。
- (2) 長期間ご使用にならない場合は次のような保管環境をお守りください。
*直射日光を避けて0~35℃の温度範囲で保管してください。
*ほこりの多い場所での保管は避けてください。
*35~85%の湿度範囲で保管してください。
- (3) 廃棄の際、工具を使わずに取り外しできる部品(カバー、ガラスグローブ等)は分別して各自自治体のルールにしたがって廃棄してください。

[4] 照明器具の寿命について

⚠ 注意

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
(JIS C 8105-1 解説による)

※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

「安全チェックシート」は弊社ホームページ

(<https://www.yamada-shomei.co.jp>)で紹介をしています。